

トライセクター人材育成事業

概要

町内の活性化や課題解決に比較的関心のない人材や、新たな学びを望んでいる人材に対し、様々な知見を提供する事により、町政等への関心を高め、「地域」「民間」「行政」の垣根を超えて、地域の活性化に挑戦する人材（トライセクター）の育成や発掘等行う。

実施状況

■ トライセクター人材育成事業

様々な講座等への参加を促し、「学ぶ事」への関心を高め、その他の人材育成事業への参加するきっかけとして開催している。

《委託事業講座》 ※主に小学生を対象とした講座を展開

(1)伝統文化・異文化体験 (こども住職)



(2)伝統文化体験 (こども靴職人)



(3)職業体験 (こどもシェフ&パティシエ)



(4)議会・行政体験 (こども議会)



〔延べ受講者数〕 78 名 〔内、新たに人材育成推進事業に参加した者 78名 〕

《しまんと未来大学》

町の将来を考える上で、必要な自由な発想やおもしろいテーマでの学びや、住民の皆さまが交流できる場を提供する事を目的としている講座。

〔延べ受講者数〕 141 名

成果

〔延べ受講者数〕 219 名

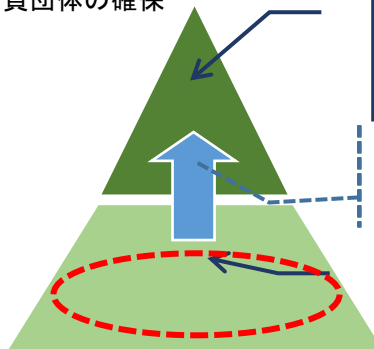
課題・方針等

< 方針 >

今まで行政が展開してこなかった講座等を開設する事により、新たな層（人材）の掘り起こしを図る。

< 課題 >

- 講座内容（コンテンツ）等の充実や、他の人材育成事業との連携。
- 請負団体の確保



〔町の施策に関心のある層〕

現在の四十万塾等の受講者は、この層の方が多い。ただし、この層の方々は町が講座等を提供しなくても、自らが進んで研修等を受講する傾向にある。

関心のない層が、参加しやすいような講座等を提供し、少しでも町政に関心を持ち、今後主体的に活動する人材となるような仕掛けが必要。

〔人材育成等の施策に余り関心のない層〕

町政等にあまり関心がない層。人口減少が続く本町においては、人材育成事業等を通じて、この層の方々が、自ら進んで関心を持つようになれば、地域を支える人材の育成や確保が図られる。

【トライセクター事業の対象となる層】

令和元年度 四万十町トライセクター人材育成事業 (町民が町政等に関心を持つような企画の検討・実施)

【目的】

町内の活性化や課題解決に比較的関心のない人材や、新たな学びを望んでいる人材に対し、地域振興等を基本としつつ、様々な活動に対する知見を提供する事により、町政や人材育成事業等への関心を高め、「地域」「民間」「行政」の垣根を越えて、地域の活性化に挑戦する人材(トライセクター)の育成や発掘等を目的とする。【町民が町政等に関心を持つような企画の検討・実施(年3回以上、講座等の開催)】

【LIFEの取組】

「こどもが主役 未来のイノベーター育成」

子どもの頃から地域・行政に関心を持たすことにより、地域・行政への裾野を広げるとともに、子どもを通じて大人にも関心を持たせる。

【実績】

- (1) 伝統文化・異文化体験(こども住職): 7月29日(月)~7月30日(火) / 藤井山 五智院 岩本寺 【参加者: 7名】
- (2) 伝統文化体験(こども糎職人): 12月21日(土) / 井上糎店 【参加者: 9名】
- (3) 職業体験(こどもシェフ&パティシエ): 1月13日(月・祝) / 四万十町農村環境改善センター2階調理室 【参加者: 16名】
- (4) 議会・行政体験(こども議会): 1月20日(月) / 四万十町議場(事前見学並びに学習: 11/27、12/5、12/11) 【参加者: 46名】

合計参加者数: 延べ78名(新たな人材育成事業参加者数延べ78名)

(1) 伝統文化・異文化体験 (こども住職)



(2) 伝統文化体験 (こども糎職人)



(3) 職業体験 (こどもシェフ&パティシエ)



(4) 議会・行政体験 (こども議会)



(1)伝統文化・異文化体験(こども住職)

実施日:令和元年7月29日(月)~7月30日(火)

場所:藤井山 五智院 岩本寺

参加人数:7名(小学校5年~6年生)

主な内容:

- ①岩本寺体験(お遍路接待、副住職による法話、施設案内、おつとめ 等)
- ②その他(将来の夢の共有、おにぎりづくり 等)

【効果】

町の地域観光資源+文化・伝統施設である岩本寺にて、日本の文化・伝統を体験(お遍路接待、法話等)するとともに他校生徒との交流を深めた。



(2) 伝統文化体験(こども糀職人)

実施日: 令和元年12月21日(土)

場所: 井上糀店

参加人数: 9名(小学校4年~6年生)

主要内容:

- ①味噌づくり体験等(糀出し、手づくり味噌作り、井上糀店さんのお話)
- ②その他(おにぎり、味噌汁づくり、糀を使ったおやつづくり)

【効果】

日本の伝統文化である、味噌づくりを通して、7代続く、井上糀店の歴史や味噌・糀等の学びを通じ、四万十の伝統文化を継続していくことの大切さを学んだ。



(3) 職業体験(こどもシェフ&パティシエ)

実施日:令和2年1月13日(月・祝)

場所:四万十町農村環境改善センター2階調理室

参加人数:16名(小学校4年~6年生)

主な内容:

- ①味覚の授業(普段の食材より「塩味、甘味、酸味、苦味、香り」を感じる体験)
- ②料理教室(ガトーショコラ、チキンオービネーグル、クロックムッシュ)
- ③夢の共有(三木シェフ、笹垣シェフの子どもの頃の夢の話や料理の道を選んだ理由などを子ども達と共有)

【効果】

四万十町出身の「MIKI ドゥーブル 三木竜太シェフ」、「マンジェ・ササ 笹垣 朋幸シェフ」の味覚の授業、料理教室、夢の共有から、料理の楽しさや夢を叶えた大人との触れ合いを通じ、好きなことを仕事にする事、食の大切さを学んだ。



(4) 議会・行政体験(こども議会)

実施日: 令和2年1月20日(月) / (事前見学並びに学習: 11月27日、12月5日、12月11日)

場所: 1/20 四万十町議場 / (11/27 四万十町議場・四万十町役場、12/5, 12/11 窪川小学校)

参加人数: 46名(窪川小学校6年生)

主な内容:

- ①子ども達に身近な図書館(文化的施設)を題材に、模擬議会を行うことにより議会や行政への関心を高めた。
- ②議会開催までに、役場や議場の見学や、文化的施設に対する学習、グループワークを行った。

【効果】

議会体験をすることにより、行政、議員、町民それぞれの役割の重要性が学べた。また、小学生からは、それぞれの意見を尊重する事や立場を考えることの学びであったり、発表の工夫等様々な効果の声を得られた。



令和元年度 四万十町トライセクター人材育成事業 まとめ

1. 令和元年度のテーマ：「こどもが主役 未来のイノベーター育成」

子どもの頃から地域・行政に関心を持たすことにより、地域・行政への裾野を広げるとともに、子どもを通じて大人にも関心を持たせる。

2. まとめ

“「地域」、「民間」、「行政」の垣根を超えた、地域の活性化に挑戦する人材の育成や発掘”

今年度、子どもに視点を向けたのは、移住者の声や高校の統合の問題など、親の関心が一番強いのは教育であることを強く感じていたからであった。

親の関心が高い子供への教育。そして、その子ども達がこれからの四万十町の未来を担っていくことに繋がっていく。

少子化という現象が続く中で、子ども達がカッコイイ大人や地域の資源、文化、伝統などに触れることにより関心を高める。その経験こそがこの地域をひっぱっていく未来のイノベーターのキッカケになるのではないかと感じている。

今回の取組は、四万十町(出身)で活躍している大人と文化伝統や食文化等を通じて、自分達が知らない四万十町等を体験してもらった。

また、子ども議会では、子ども達にも関係が深い文化的施設を通じて、議員、行政、町民の3つの視点から子ども議会を開催。子ども達が学校で学ぶ事のできない学びができたのではないかと感じている。

複数の事業に参加してくれた子ども達は、取組に熱心であり将来のイノベーター候補となってくれるのではないかと期待している。そういった子どもの家族も地域や行政等に関心が高まったのではないかと思うし、本事業に参加し家族で会話をすることが、保護者への関心を高めることにも繋がり、地域や行政への関心を高めたことにつながったと思われる。